

中澤敬信 研究概要

我々は、精神疾患の分子病態を明らかにすべく、患者神経細胞が解析可能となる iPS 細胞関連技術やヒト型疾患モデルを利用した融合的な研究を実施しています。具体的には、病態に直結する効果サイズが大きいと考えられる変異を保持する精神疾患患者由来の iPS 細胞を樹立するとともに、対応する変異を導入したヒト型疾患モデルマウスを開発しています。それらの独自のリソースを利用し、分子・神経回路・行動レベルの研究や明らかにした分子基盤とヒト病態との関連を解析する研究を推進しています。

文献：

Matsumura K, et al., *Nature Communications* 11:859 (2020).

Baba M, et al., *Neuropsychopharmacology* 44:2125–2135 (2019).

Nakazawa T, et al., *Schizophrenia Research* 181:75–82 (2017).

Nakazawa T, et al., *Nature Communications* 7:10594 (2016).